

平成27年度
学校自己点検・自己評価 報告書
(平成28年3月22日 実施)

平成28年3月
学校法人 エイシンカレッジ
日本ビジネス公務員専門学校

評価項目の達成及び取組状況

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|-------------|--|---------------------------|---|---|---|
| (1) 教育理念・目標 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

- 各学科ごと、教育理念・目標に基づいた人間育成(知識や技術の修得)がなされている。
- 学校の理念、目的、育成人材像を明示しているが、在校生・保護者が理解しているとは言えない現状である。

②課題及び改善方法

- 学校の理念、目的、将来構想などを周知する方法として、学生の手引き、学園だより、Webを利用していくことを検討したい。

③特記事項

- 関連する業界関係者に対し、情報発信する機会を設け、さらなる発展につなげたい。

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------|------------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| (2) 学校運営 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 目的等に沿った運営方針が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ③ 運営会議(学校運営会議・学科運営会議等)が定期的に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ④ 組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑤ 人事、給与に関する規定等は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ⑨ 教職員の健康診断がされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

①現状

- 学校運営については学則、組織図、職務分掌を年度ごとに作成し、健全化を図っている。
- 校内において学校運営会議を定期的に行い、協議や情報の共有がなされている。
- 人事、および給与は法人の定める就業規則、その他諸規定によって規定されている。
- 学籍を入学から卒業まで一元管理し、業務の効率化を図っている。

②課題及び改善方法

- 校内の意志決定機能が十分であるとはいえない。危急の問題・事件に対応できる組織・システムを形成していく必要がある。

③特記事項

- 全ての活動の根幹となる点検項目であることから、現状に甘んじることなく、常に高い目標を設定し、日々努力していきたい。

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------|---|---------------------------|---|---|---|
| (3) 教育活動 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ③ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ④ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 | 3 | ② | 1 |
| | ⑤ 授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑥ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑦ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑧ 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

- 各学科のカリキュラムは各学科独自の教育スタンスに基づき、目標を達成することが可能なレベルで編成されている。
- 進級や卒業判定の基準は明確に定められ、「学生の手引き」によって、学生および保護者に周知されている。

②課題及び改善方法

- 今後は、業界ニーズや、外部有識者の意見を反映していく取り組みが必要である。
- 教員の専門性向上につながる研修が十分ではない。外部団体実施の研修など自主的な参加を推進していく。

③特記事項

特になし

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------|---|---------------------------|---|---|---|
| (4) 学修成果 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 就職率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 資格取得率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ③ 退学率の低減が図られているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

- 就職率・資格取得率は自校の学校案内パンフレットおよびホームページ等で公開している。
- 就職率および資格取得率とその推移について、学校全体で情報共有をできている。
- 資格に関しては、日商簿記・診療報酬請求事務能力認定試験(医科)等、社会ニーズに対応した種類を厳選している。

②課題及び改善方法

- こころのリスクを抱える在校生に対し、学生生活における悩みや不安などについて一層サポートしていける体制を整備する。
- 卒業後の職場訪問など、卒業生に対するフォローアップ体制が十分であるといえず検討課題である。
- 卒業生の企業での活躍や業界の動向を把握し、教育目標やカリキュラムに反映していきたい。

③特記事項

特になし

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------|---|---------------------------|---|---|---|
| (5) 学生支援 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 学生相談に関する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ⑦ 保護者と適切に連携しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑧ 卒業生への支援体制はあるか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ⑩ 高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

- 企業や病院等との連携や校内での就職実務や授業の実施など、在校生の就職支援に努めている。
- 学生相談は、担任および学科チームで対応する体制が整備され、有効に機能している。
- 学費等納入に関し、分納や奨学金等の相談・体制が整っており、個別支援を行っている。
- 通学困難な学生のため、学生寮を完備し、経済的サポートが機能している。

②課題及び改善方法

- 保護者会を実施していない学科は保護者との情報共有、連携が図れているか検証したい。

③特記事項

特になし

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------|--|---------------------------|---|---|---|
| (6) 教育環境 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備され、保守・管理が定期的に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ③ 災害、事件、事故発生時の校内緊急体制は十分に整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ④ 学生の駐輪場が確保され整備・点検されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

①現状

- 専門学校の教育上の必要性に十分な施設・設備が完備されている。
(病院受付実習室・レセプトコンピュータ実習室、CGデザイン実習室、公務員トレーニングルームなど)
- 避難訓練を実施している。

②課題及び改善方法

- 万が一の災害が発生した際の対応マニュアルの更新が滞っている。早期に対応する必要がある。

③特記事項

- 特になし

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--------------|-------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| (7) 学生の受入れ募集 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 学生募集活動は、適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ③ 学納金が妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

①現状

- 学校案内のパンフレット・募集要項を毎年製作し、入学希望者に対して最新情報を提供できている。
- オープンキャンパスなど各種進学イベントを年間実施し、学校の理解を深めてもらえる機会を設けている。
- 教育内容を鑑みて、妥当な学納金であるといえる。

②課題及び改善方法

- 特になし

③特記事項

- Webサイトをレスポンシブル仕様に変更し、閲覧者がより見やすいよう工夫を施した。

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|--------|----------------------------|---------------------------|---|---|---|
| (8) 財務 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 中長期的に学校の財務基盤が安定しているといえるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ③ 財務について会計監査が適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ④ 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

- 財政基盤に関して、特設の問題はない。
- 予算は計画に従って妥当に執行されている。
- 年間公認会計士による会計監査が行われている。

②課題及び改善方法

- 私立学校法における財務情報の公開体制を整備する必要がある。

③特記事項

特になし

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|------------|---------------------------------|---------------------------|---|---|---|
| (9) 法令等の遵守 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ② 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | ④ 自己点検・評価報告書が公開しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

- 個人情報に関する保護方針を明文化し、志願者・在校生・卒業生および教職員など保有している個人情報を適正に保護できている。
- 自己評価を実施し、問題点の改善に努めている。

②課題及び改善方法

- 自校評価については、学校関係者評価委員会の評価を経た後、Web等に公開している体制を整備する必要がある。

③特記事項

特になし

| | | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 | | | |
|----------------|---|---------------------------|---|---|---|
| (10) 社会貢献・地域貢献 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 評価項目 | ① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | ③ 教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

- 学生のボランティア活動の状況を把握している。
- 地域中学校の上級学校学習に積極的に協力している。

②課題及び改善方法

- 特になし

③特記事項

- 「ながおか・若者・しごと機構(「長岡市による地方創生事業～長岡若返り戦略～」)の機関運営会議に参画。若者の学生生活や定住促進を目指す取り組みに寄与していきたい。